

天体望遠鏡 3号機 「PHAST」

夜間の観測も頻繁に行われる。手前が天体望遠鏡3号機「PHAST」。奥の2機は1号機と2号機＝後楽園キャンパス6号館屋上(中央大学プロモーションビデオから)

より速く星にフォーカス フレア解明の“切り札”に

理工学部・大学院理工学研究科
坪井陽子研究室

後楽園キャンパス6号館屋上の天体望遠鏡3号機の名称がこのほど、公募で「PHAST」(ファスト)に決まった。X線天文学の研究を進める理工学部、大学院理工学研究科の坪井陽子教授(物理学)の研究室が、1号機、2号機に続いて2021年春に開設した最新鋭の天体望遠鏡だ。

正式名称の「Photometric(測光の) And Spectroscopic(分光学的な) Telescope(望遠鏡)」の頭文字から命名された。観測したい天体の方向により速く正確に鏡を向けられるのが特長。星の誕生や消滅、フレア(爆発現象)などの解明へ、今後の研究の“切り札”になりそうだ。

PHASTの天体ドーム内部▼



坪井陽子教授の研究室メンバー▲